

有限会社 キーポイントホーム

工藤様邸が建つ敷地面積は500坪。親から受け継いだ土地は大きな財産ではあるが、広い分、降り積もる雪の片づけが「苦勞」。解決してくれたのは井戸水であった。冬でも約13℃ある地下水を利用した珍しいロードヒーティングを提案したのは、(有)キーポイントホームの阿保勝之社長だ。初めての冬は雪かきを一回もしなかったというのだから効果は歴然。

話題はもう一つ——室内の冷暖房にエアコン1台による新方式を採用した。和室の押し入れに設置したエアコンが稼働しても無音で、吹き付ける風もなく、しかもランニングコストが安い。北国の宿命である「雪」と「寒さ」から解放された工藤様邸を訪ねた。

井戸水を汲み上げ融雪敷地の除排雪から解放

キーポイントホームの常設展示場から車で3分という工藤様邸へ、阿保社長が案内してくれた。敷地の奥に立つ1本の木を指差して、「あの栗の木が、向こうの隣地との境界です」と阿保社長。すぐそばを走るのは奥羽本線で、その線路から、栗の木を経て、右手のサワラの生け垣とを結ぶ線の手前全部が工藤様の敷地だという。農家

だった祖父の代からの土地を、長男の工藤様が継ぎ、築65年の実家を解体して自宅を建てた。竣工は昨年(2020年)11月。

駐車スペースの端に、コンクリートで囲んだ四角いボックスがあった。それが、使われていなかった井戸だという。敷地内のロードヒーティングにこれを活用できないものか。阿保社長は井戸水に着目したのだった。

——ひと冬の融け具合はいかがでしたか。

エアコン1台だけで暖かく涼しく



ユーザー訪問

工藤 様邸

DATA

弘前市清水森 2020年11月竣工

■床面積／平屋建22.00坪(約72.72㎡)

■使用青森県産材／《構造材》ヒバ(土台)、スギ(柱)、《内装材》スギ無垢材(床、壁、天井、テーブル、カップボード)、スギ集成材(建具)。





工藤様の話 1回も雪かきは
 しませんでした。楽でしたね。
 いつも雪がないから不思議に
 思ったんでしょう、ご近所らし
 い方から、どのようにしている
 んですか？ つて聞かれました
 よ。井戸水の話をして、キーポ
 イントホームを紹介しました。

阿保社長の話 さっそくその
 方が訪ねて来ました。このあた
 りは「清水森」の地名のとおり
 に清水が豊富に湧き出る所な
 んです。その地下水をポンプで
 汲み上げて「散水」させる融雪
 方法は周辺で見かけるけど、
 ロードヒーティングとして利用

したのは初めてで
 しょう。ポイラーや
 電気ではなく、地下
 水を利用するのです
 から、自然の恵みで
 すね。
 ——家の中もまた
 エアコン1台で冷

床や羽目板に地元のスギから製材した無垢材をふんだんに使用したリビング

暖房する新方式を採用したと
 か。
阿保社長の話 使うエアコン
 本体の大きさは、一般の壁架け
 のものよりもひと回り大きい
 くらい。それ1台だけなので、熱
 源本体の設置場所も、室内に露
 出するパネルヒーターもなく
 て済みます。エアコン本体は、和
 室の押し入れの下端に設置し
 て建具で目隠しをします。
 壁架け式のエアコンだと、リ
 ビングや主寝室、子供部屋など
 数台必要になるのに対し、この
 方式は、基礎に囲まれた床下の
 空間にダクトを配管して、送り
 込んだ暖気や冷気が各部屋の



キッチンとリビングがひと続きになったコンパクトな設計



リビングに続く主寝室。仕切りの引き戸を開放すれば手入れのいき届いた庭が眺められる

床の格子のガラリから立ち上るので、40坪までならエアコン1台でまかなえるのです。暖気は軽く自然に上昇しますが、重い冷気は24時間換気を利用して室内に対流させるしくみです。それと壁架け式だと風の吹き出る音がしますが、無音です。

工藤様の話 今も暖房をつけているんです。まったく音がしませんが、驚いたのは電気代の

安さです。冬はひと月に1万7千円（全電気代）ほどでした。オール電化だから、ガス代や灯油代も含めた光熱費がそれだけで済んだということですね。一般家庭の冬場の光熱費は、家の大きさや家族構成の違いはあるにしても、だいたいひと月に3万円〜4万円だそうですから、格安です。日中は21℃、寝る前は18℃に設定しますが、朝になっても室温は18℃以下に下がっていません。夏場はひと月約9千円。断熱性の良さと、ラニングコストの安さが、快適な暮らしだと阿保さんは強調していました。実感できましたよ。

頼むと決めて展示場へ10年前の名刺交換が縁

——キーポイントホームとの出会いは？

工藤様の話 在職中に、阿保さんと名刺交換をしたことがあったんです。10年以上前です。そのときにはまさか将来、阿保

さんに依頼することになるとは思ってもいませんでした。転職がありましたし、仙台の本店にも5年ほどいましたし、退職したら長男なので郷里の弘前に戻って実家を建て替えることにはなるのでしようけど、まだ先のことでした。

阿保社長の話 工藤様は金融機関に勤められていて、私がお客様の融資の件で訊ねたときの担当が工藤様だったのです。それから工藤様が転勤でまた弘前支店に戻られたときに挨拶に伺いました。お会いしたのはその2回だけです。去年の4月に、工藤様が当社の展示場を訪ねて来られた

前から思っていました。退職したのが去年の3月で、4月に、すぐ近所の展示場を見学に行きました。キーポイントホームの展示場だとは知っていました。お願いするつもりで行ったんです。

私は、家とは快適に暮らせさえすればいいという考えで、信頼できる地元の工務店に一切任せるつもりでした。真つ先に阿保さんを訪ねたのは、知らない人よりは一度でも会ったことのある人が声をかけやすかったからです。私、朝にジヨギングをしていて展示場の前を通るんですよ。"近い"ということは、

ときには驚きましたよ。10年以上前の名刺交換した場面がよみがえりました。出会って、縁なのですね。

工藤様の話 家を建てるときは「近く」の工務店に頼もうと以



洗面コーナーにも木を使いタイルを貼る細やかな配慮が



家の中の冷暖房はこのエアコン1台でまかなえる



エアコンが送り込んだ暖気や冷気は、各部屋の床の格子のガラリから立ち上る

てたい、ということでした。既存の家の解体もあるし、庭木を切ったり、移植したりするにも経費がかかるし、敷地内の融雪の件も

退職したあとの時間は全部自分のために使おうと考えていましたから、今、専門学校（弘前高等技術専門学校）に通って勉強しているんです。造園科です。剪定を学んで、祖父から受け継いだサワラの生け垣を手入れしていこうと思ひましてね。

ユーザーも安心感があるし、工務店にしても近くだから来やすい。それにキーポイントホームは“地元の木”を使っていると知っていました。地域を応援する姿勢にも好感を覚えていましたしね。
—— 展示場を見学して、いかがでしたか。
工藤様の話 中に入って、まず目に付いたのが「木目」でした。腰壁に張られた柔らかさそうな板の目。足裏から伝わるほどよい木のぬくもり。地元のスギから製材した無垢の床や羽目板だと阿保さんから聞きました。それまで関心を持ってスギを眺めたことなんてなかったけど、

スギっていいものだなと再発見しましたね。家に暮らすということは、その地域に暮らすことでもあるわけです。地域の中で生活しているわけです。そう考えると、家を建てるのに海外で育った木を運んできて使うのはいかにも不自然です。地域の環境に配慮するからこそ地元の木にこだわる、という阿保さんの考えに共感しました。
阿保社長の話 工藤様のご計画によると——祖父が建てて父の代に増築した家を建て替えたのだが、敷地の手前に寄って家が建っていて、奥は、元々はリング畑だった庭になっているから、まず家を後ろに下げて建てたい、という

含めてお話を進めるには全体の予算を算出するアウトラインを引いてみなければなりません。そう提案しました。「進めてください」とその場で工藤様に依頼されました。展示場を見ただけで弊社に決めてくれたのです。
工藤様の話 お陰様で、雪から解放された“家が建ちました。室内では、夏も冬も素足で気持ちよく健康的に暮らしています。玄関前の雪は井戸水が融かしてくれるし、屋根からも雪は落ちないし（スノーストツパールーフ付き）、エアコン1台で冷暖房できるし、放つてもおいても快適に生活できる家を造ってくれました。



有限会社 キーポイントホーム

弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
http://www.ki-pointhome.com/
E-mail : staff@ki-pointhome.com



「あおもり産・木の家」常設展示場&ドッグカフェ